

令和 7 年 1 月 3 0 日

自立支援協議会全体会資料

**日中サービス支援型 GH の評価について（報告）****1 趣旨**

基準省令 213 条の第 10 に基づき，市内の日中サービス支援型 GH の評価を実施した結果について次のとおり報告するもの。

**2 対象事業所**

令和 6 年 4 月 1 日現在で開所している市内の日中サービス支援型 GH 5 か所

**3 実施日**

事業所名	評価実施日
(1) A 事業所	令和 6 年 1 1 月 6 日（水）
(2) B 事業所	令和 6 年 1 1 月 1 3 日（水）
(3) C 事業所	令和 6 年 1 1 月 2 0 日（水）
(4) D 事業所	令和 6 年 1 2 月 2 0 日（金）
(5) E 事業所	令和 7 年 1 月 8 日（水）

**4 実施方法**

現地視察及びヒアリング

**5 評価結果（概要）**

- ・今回，実施した 5 事業所については，概ね利用者の特性に応じた支援が提供されていた。
- ・前回，評価で改善が必要とされた事業所については，改善に向けた取組がされていた。

ア 利用者の好み等を取り入れ，本人のできることを広げる等の

個々の支援，利用者間の交流等，住まいを楽しみ取組が広がると良い。

⇒ 男性と女性の居住スペースが分かれ，女性の居住空間は季節に応じた装飾がされる等，明るさを感じる空間だった。

男性の居住空間は各利用者の障害特性等により，集団でイベントを行うのが難しい状況。その点は個々の利用者の状況に応じて判断されていた。

#### イ 支援体制の確保

平日及び土日に関係なく，日勤者及び夜勤者を1～2名以上，ユニットごとに配置している。

#### ウ 余暇活動に関すること

利用者全員を連れて外出行事（お花見会）の実施。

#### エ 職員研修に関すること

ハラスメント及びカスタマーハラスメント対応に関する研修の実施。

#### ・改善に努めたいと考えている事項

ア ボランティアの受入。体験活動等を実施したいと考えているが，感染症のことを考えるとなかなか踏み出せない。

イ 地域とつながりたいと考えているが，現時点で難しい。職員の人手不足も影響あり。

・今回視察した5事業所については，室内が整理整頓されており，利用者が生活していることを感じさせる空間であった。今回，視察した5事業所については，利用者が安心して暮らす環境が整っていると判断できる。

・各事業所はそれぞれ特色があり，現場の職員の方々が工夫を凝らして支援していた。具体的な例は次のとおり。

ア 医療と連携し，重度障害者を支える取組

イ 土日の余暇支援については，移動支援事業所等と協力して利用者支援に努めていること

ウ 様々な障害特性のある方がいる中，本人の希望に応じて入浴をほぼ毎日実施していること

エ 職員のローテーション等を工夫し，外出支援（近隣のコンビニエンスストア等）を実施

## オ 移動スーパーの利用

- ・日中の通所先や相談支援専門員等，関係機関との連携・協力は進んでいると思われるため，今後も引き続き連携・協力体制を進めていきたい。
- ・施設内の様子から、区分の高い利用者の方も、法人の取り組みにより、落ち着いた生活を営んでいる様子を伺い知ることができた。
- ・身体・知的・精神の3障害が同じフロアで居住している場合，集団での活動が難しい現状がある。
- ・今後，入居者の重度化・高齢化が進むことが予想されるため，機械浴槽の設置等，設備面の充実が不可欠。
- ・災害時の避難体制については各事業所で検討しているが，建物の構造上，迅速な避難が難しいと思われる事業所もあった。

### (評価委員からの主なコメント)

<p>(1) 施設面等に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・2階利用者の防災対策が課題。各事業所において避難経路等の検討を進めている様子は理解できた。</li><li>・重度の身体障害者を受け入れているGHについては，機械浴槽が必要。利用者の重度化及び高齢化が進むため，対策を講じることが必要。利用者の入浴についてGHが苦勞している様子が伺えた。</li><li>・本人の希望に応じてほぼ毎日，入浴を実施されていることに驚いた。利用者に応じて様々な工夫をされていることが理解できた。</li><li>・女性利用者がいらっしゃる居住スペースは，カラフルな印象を受けた。</li></ul>
<p>(2) 利用者の主な日中活動及び地域生活の</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・もう少し集団でできる活動があれば望ましい一方，入居者の中に身体・知的・精神障害者とそれぞれ障害特性が違うと，集団での活動</li></ul>

<p>支援状況</p>	<p>は難しいようにも感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共有スペースで過ごすだけでも楽しい気持ちになれるのではないかと思った。</li> </ul>
<p>(3) 支援体制の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が多いと感じる事業所と、人手不足に悩む事業所の両方の状況が伺えた。</li> <li>・職員の支援スキルとメンタルヘルスへの支援が必要に感じた。</li> <li>・移動スーパーの利用は画期的だと思った。</li> </ul>
<p>(4) 地域に開かれた運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所ともに地域行事に参加もしくは参加希望あり。</li> <li>・ボランティアや実習生の受入については、事業所によって差が生じているが、職員の人手不足や生活の場ということ考えると難しい現実がある。</li> <li>・施設見学については、積極的に受け入れている印象を受けた。</li> <li>・日中サービスからの帰宅後や休日、ヘルパー等を利用し、積極的に外出されていることから、地域に溶け込み生活をするといった、職員の方々の意識を非常に感じた。</li> </ul>
<p>(5) 短期入所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療依存度がない重心障害者等を含め、必要に応じて定期的に短期入所の受入を検討してほしい。</li> <li>・設備の充実に伴い、様々な障害のある方の受入が可能。</li> </ul>
<p>(6) 他事業者等との連携状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所を中心に通所先や訪問看護等、様々な事業所と情報共有や連携・協力が進んできたと思われる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所との連携は、どこの事業所も非常に苦勞されていることの一つだが、利用されている方が、法人の運営するサービスを利用されていることが多いことから、連携は、簡単ではないものの、スムーズにとることが出来ていると思う。区分の高い利用者にとっては、必要な仕組みだと思う。</li> </ul>
<p>(7) 利用者に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りまで行う場合、職員の負担が気になった。</li> <li>・虐待防止については、各事業所において職員研修等を通じて取組んでいることが理解できた。</li> <li>・各利用者の服薬が適正に管理されていた。</li> <li>・利用者が車いす等、重度化する前に訪問診療や訪問看護、訪問薬局を利用する準備を進めた方が良かったと思った。</li> </ul>
<p>(8) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の特性上、集団行動が難しい面もあることが理解できた。</li> <li>・高齢の利用者がいらっしゃるため、今後の身体等の状態や看取りに関する事業所側の見解を聞いてみたかった。</li> <li>・利用者が高齢化及び重度化した場合の対応に若干の不安を感じた。</li> <li>・行事に合わせての室内の飾り付けや外の花壇など綺麗に飾られていて温かみのあるGHだと思った。</li> <li>・男女混合フロアと言うのに驚いた。その為、職員の方の負担が大きいのではないか。メリット、デメリットを施設の方で考えて運営しているようだが、今後も状況を見守って行っ</li> </ul>

た方が良い。
--------

## 6 課題

- (1) 利用者の高齢化に向けた対応。加齢等によって身体的な支援が必要になった場合、障害に配慮した設備が必要。
- (2) 職員不足への対応。

## 7 今後の予定

全体会にて評価結果の概要を報告後、今回の評価対象事業所には、評価結果をフィードバック予定。